

◆子どもたちの絵の力

「子どもたちの絵に助けられました。」子どもたちのまっすぐな想いが表現された作品には、人の心を動かす力があります。病院で飾られた絵は、重い病気を抱えた人やその家族に希望を与え、オフィスに飾られた絵は、忙しい生活を送る人々にほっとする休息と新しいアイデアやイメージをもたらしています。

カルビー株式会社展覧会(3月7日-31日)

本社のロビー一面に東北の子どもたちの絵が展覧されました。「津波を描いた絵、「福島」の夏」をイメージした絵、ひとつひとつの作品から強いメッセージを感じます。

海を越え支えあう子ども達展(1月2日-22日)

金谷美術館と金谷の町中にて行われた展覧会に子供地球基金の作品が展覧されました。1月21日には、「世界一贅沢なBBQ@金谷X」というチャリティーイベントが開催され、売上の一部が子供地球基金に寄付されました。

その他12月-3月の展覧会 日産厚生会 玉川病院(11月11日-12月27日)

京都 町屋まるこう寄席(1月14日)

青梅慶友病院(2月10日-19日)

H.A.C GALLERY 青山(2月1日-8日)



◆被災地の子どもたちが描いた絵がデザインに。

アスクルからキューブティッシュに引き続き、宮城県亘理町の子どもたちが描いた絵がノートと紙コップのデザインとなって発売されています。ご購入金額の3%がアート使用料として寄付されます。

是非ASKUL(アスクル)でご購入ください。 <http://www.askul.co.jp/csr/>



◆チャリティインナーの発売

OLIVE des OLIVEのスタッフからなるwww.FRAGMENT(フラグメント)からチャリティインナーが発売されます。このインナーは東北の工場で作られた"made in japan"。売り上げの一部が子供地球基金に寄付され、商品には子どもたちが描いた絵がデザインとなったオリジナルステッカーがついてきます。OLIVE des OLIVE公式通販サイト限定で販売中。 <http://www.olivedesolive-ec.jp/>



◆子どもたちのデザインの紙袋

6種類の世界の子どもたちのデザインの紙袋を株式会社シモジマが作成しました。東急ハンズ各店等で販売しています。子供地球基金ホームページからも購入可能になる予定です。



◆チャリティパーティ@キッズアースホーム東京

日頃からご支援頂いております会員の皆様やボランティアの皆様、また子供地球基金にご興味を持ってくださっている皆様の交流を深めるためのパーティを子供地球基金の事務所で開催いたします。是非、子どもたちの絵画が一面に飾ってある事務局に足をお運びくださいませ。

日程:7月5日(木) 19:00 ~

会費:一般2000円 学生 1500円

場所:キッズアースホーム 東京(渋谷区恵比寿3-25-2) ※飲み物、軽食が出ます。 ※人数に限りがあります。お早めにお申し込み下さい。

◆新しい顧問をお迎えして更に充実した活動を目指します。

大塚化学株式会社 特別相談役 大塚 雄二郎氏 / 株式会社良品計画 代表取締役社長 金井 政明氏

カルビー株式会社 代表取締役会長 兼 CEO 松本 晃氏 (50音順) に、新しく子供地球基金の顧問にご就任頂きました。

◆Facebook、Twitterからタイムリーな子どもたちの笑顔と作品をお届けします。

子どもたちの絵で地球を塗り替えよう -Kids Helping Kids-
<http://www.facebook.com/KidsEarthFund>

子供地球基金
<http://twitter.com/#!/KidsEarthFund>

■ NEW MEMBER

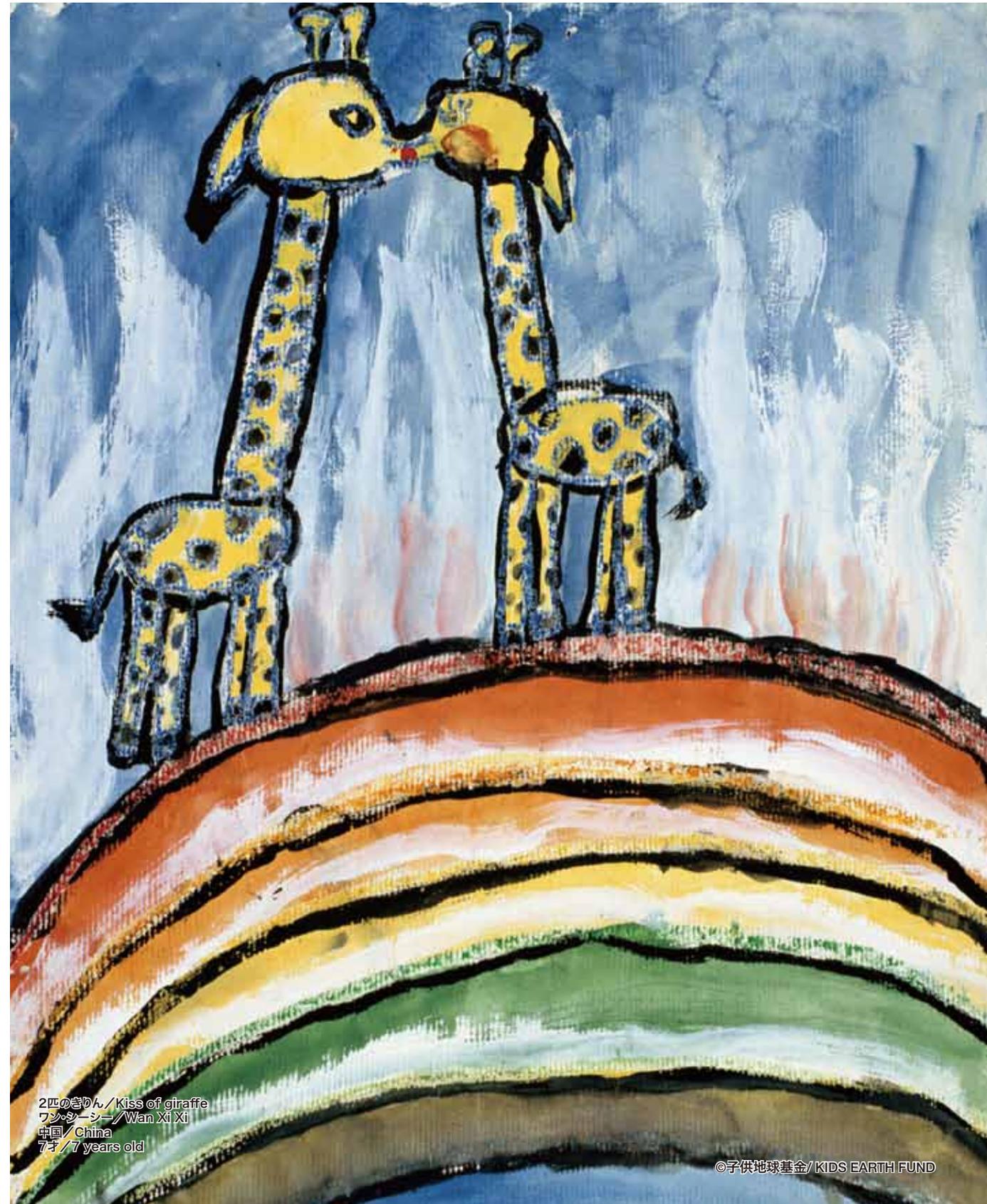
新規にご入会いただいた方々です

【団体会員】 D&Nコンフェクショナリー株式会社

【個人会員】 長井 美穂子 様

(2012年2月28日現在)

子供地球基金 / KIDS EARTH FUND 〒150-0013 渋谷区恵比寿 3-25-2 TEL:03-5449-8161 / FAX:03-5449-3962
E-mail: info@kidsearthfund.jp URL: <http://www.kidsearthfund.jp/> Twitter: @KidsEarthFund



2匹のきりん / Kiss of giraffe
ワン・シー・シー / Wan Xi Xi
中国 / China
7才 / 7 years old



今年も東北支援を続けます。

震災後、東北の人々は多くの変化に対応せねばなりません。住む場所、食べ物、持ち物、生活、人間関係など避難所から仮設住宅など度重なる移住のために精神的に大きな負担を抱えています。

苦勞をしている大人を見ながら、子どもたちは自分のストレスや思いを心の中に閉じ込めてしまいます。子供地球基金は物資のみではなく、絵を描くワークショップを通して子どもたちに表現することの大切さを伝えています。

子どもたちが楽しんでのびのびと絵を描く姿と作品から、絵を描くワークショップの長期的な支援が必要とされています。

雄勝太鼓の復活

津波で校舎が壊滅的に被害を受けた、宮城県石巻市雄勝地域。津波により無形文化財に指定されている雄勝法印神楽の太鼓が流されてしまった為、子どもたちは捨てたタイヤにビニールテープを何重にもはり、太鼓代わりに練習、パフォーマンスをしていました。



そんな子どもたちに本物の和太鼓を叩かせてあげたい、そんな想いで200万円(「太鼓」140万円、「こども用衣装」60万円)を寄付しました。

石巻市の復興の象徴である雄勝太鼓。子どもたちの叩く音色が人々の心に響きます。



「今日は東京からサンタさんが来るから！」

キッズアースカーがホームに到着するまで、子どもたちは雪の積もるホームの前でずっと待っていてくれました。ホームはトナカイの角やサンタの衣裳を着た子どもたちでいっぱい。大きなキャンパスに子どもたちは好きなものを思い切り表現し、最後に子どもたちが描いた言葉は、「ありがとう」。皆様の支援が子どもたちの元へ届いています。

KIDS EARTH HOME Project

キッズ・アース・ホームプロジェクト



「日本のことをずっと心配していたんだよ。」

まだ雪の残るグボーズ市。ホームに着くと子どもたちとクローチアスタッフは温かく優しい目と抱擁で迎えてくれました。空港から南へ向かう3時間の車の中、戦争の傷が残る街。「10年経っても何も変わっていない。」戦争の真っ只中から支援を行っている代表鳥居は話しました。

グボーズ市には未だに人種問題が色濃く残ります。クローチア人、セルビア人、ムスリム人が共存していますが、大人社会では未だに人種によって差別が絶えません。キッズアースホームクローチアには世界中からボランティアの方々が参加したり、子どもたちとワークショップをしています。子どもたちにとって、いろいろな国の人々と交流することには大きな意義があります。



両親から家庭内暴力を受けていた子ども、家庭が金銭的に余裕がなく十分な食料を与えられていない子ども、そんな子どもたちが私たち日本人を迎えてくれた言葉は「日本のことがとても心配でした。僕に何ができますか。」

行われたワークショップでは、「日本の皆を想って絵を描きます。」 Kids helping Kids



子どもたちが子どもたちを救う活動- 子どもたちの優しい想いの詰まった絵がグッズやデザインとなって子どもたちを救っています。

KIDS EARTH CAR Project

キッズ・アース・カープロジェクト



久しぶりに見た明るい表情。

震災後も東京都・神奈川県の小児病棟・児童養護施設8施設でアートワークショップを続けています。重い病気を抱え、毎日痛みと闘っている子ども、親から虐待を受けトラウマを抱えた子ども、両親を失った子ども、多くを語らない子どもたちがいつもワークショップを楽しみに待っていてくれます。



12月には14施設、計961個のクリスマスプレゼントを届けました。「病院にいる僕たちのところにもサンタさんが来てくれてうれしい！」包装も全て手作業で多くのボランティアの方に御協力頂きました。

プレゼント提供:

- カルビー株式会社
- 株式会社キャラ研
- 日本クラフトフーズ株式会社 (50音順)



NEWS



◆東北の子どもたちに素敵なクリスマスを。

グランドハイアット東京のチャリティプログラム「The Light Of Happiness」で青山学院初等部と西町インターナショナルの生徒たちが東北の子どもたちに向けてメッセージを書きました。「東北の子どもたちにクリスマスプレゼントを届けたい。」そんな思いで多くのプレゼントが集まり、宮城県亶理郡、石巻市、気仙沼市、福島県南相馬市、会津若松市、いわき市など11ヶ所の施設1000人近くの子どものために届けることができました。

子どもたちは目を輝かせてプレゼントを受け取っていました。

◆キッズ絵画コンクール みんなのえがお

リプトンスマイルキャンペーン「キッズ絵画コンクール」でご応募いただいた作品が子供地球基金に寄贈されました。1059点もの笑顔いっぱいの作品が集まりました。表彰式とWEB展覧会の様子がリプトン1000mlのホームページで公開されています。

表彰式レポート▶
<http://www.lipton1000.net/cpn/index.html>
 WEB展覧会▶
<http://www.lipton1000.net/cpn/exhibition.html>



◆イギリス大使館クリスマスクラッカー

イギリス大使館にてクリスマスチャリティパーティが行われ、チケット代、ラッフル代を含めました収益金全額の2,331,000円ものご寄付を頂きました。イギリス大使ご夫妻はじめ、lan de Stains氏、Robin Maynard氏にご尽力頂きました。頂きましたご寄付は東北の子どもたちのために有効に使わせて頂きます。



◆時計作成ワークショップ

SEIKO 130周年を記念したSEIKO MUSEUM GINZA ANEXにて時計の文字盤に絵を描くワークショップを5日間10回にわたって行いました。参加してくれた子どもたちは自分で文字盤に針をつけ、オリジナルの時計を持ち帰りました。宮城県亶理郡の子どもの作品が有名人の作品と共にショーウィンドウに展覧されました。



2011年	12月	3日(土)	キッズアースホーム12号 東北
		6日(火)	神奈川立こども医療センター
		17日(土)	SEIKO 時計作成ワークショップ@銀座和光
		18日(日)	SEIKO 時計作成ワークショップ@銀座和光
		18日(日)	至誠学院 クリスマスパティ
		20日(火)	慈恵医大附属病院 小児科
		21日(水)	宮城県石巻市雄勝中学校 雄勝太鼓支援
		22日(木)	クリスマスパーティ&プレゼントの配布
		23日(金)	SEIKO 時計作成ワークショップ@銀座和光
		24日(土)	SEIKO 時計作成ワークショップ@銀座和光
		25日(日)	SEIKO 時計作成ワークショップ@銀座和光
2012年	1月	17日(火)	慈恵医大附属病院 小児科
		25日(水)	吉田西児童館(宮城県亶理郡)
		27日(金)	神奈川立こども医療センター

2012年	1月	31日(火)	宮城県亶理町にて支援
	2月	3日(金)	神奈川立こども医療センター
		4日(土)	慈恵医大附属病院 小児科 勉強会
		16日(木)	東京医科歯科大学附属病院 小児科
		17日(金)	吉田西児童館(宮城県亶理郡)
		18日(土)	キッズアースホーム12号 東北
		21日(火)	慈恵医大附属病院 小児科
		22日(火)	キッズアースホーム クローチア
	3月	5日(月)	神奈川立こども医療センター
		8日(木)	東京医科歯科大学附属病院 小児科
		13日(火)	慈恵医大附属病院 小児科
		17日(土)	キッズアースホーム12号 東北
		24日(土)	キッズアースホーム カンボジア
		26日(月)	キッズアースホーム ベトナム